

令和 8 年 第 3 回 定例会

町 長 諸 般 報 告

阿 久 比 町

令和 8 年 9 月 2 日

令和 8 年第 3 回定例会の開会に当たり、諸議案並びに令和 7 年度各会計歳入歳出決算認定のご審議をお願いするに先立ちまして、町政の概要についてご報告を申し述べ、議員各位並びに町民の皆さまの深いご理解とご協力を賜りたいと思います。

今年の夏も毎日のように熱中症警戒アラートが発表される大変暑い夏となりました。

清少納言は、『枕草子』で「夏は夜。月のころはさらなり、闇もなほ、ほたるの多く飛びちがひたる」と表現されているように、平安時代では夏は涼しくなる夜が好まれていたようです。しかし、現代の夏は、夜になっても気温が下がらず連日 25℃以上の熱帯夜となり、熱中症や睡眠障害のリスクが生じています。また、暑さのせい、ほたるも飛び交う状況ではありません。

今年 4 月から最高気温が 40℃以上の日の名称が「酷暑日」に決定されました。命を脅かす災害級の危険な暑さから町民の皆さんを守るため、熱中症予防行動についての呼び掛けや、クーリングシェルの利用促進など、関係機関と連携して熱中症対策に取り組んでいきます。まだまだ、暑い日が続きますので、町民の皆さんも熱中症には、引き続きご注意ください。

7月28日午後4時27分、熊本県熊本地方を震源とする令和8年熊本地震が発生し、熊本県宇城市、氷川町で最大震度7を観測したほか、九州の広い範囲にわたって強い揺れが観測されました。また、先月には関東地方でも千葉県などを襲った記録的豪雨や最大震度5弱の地震も発生しました。この災害により亡くなられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますと共に、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

真夏に起きた今回の災害により、災害時における暑さ対策が課題として浮き彫りになりました。停電となり、冷房設備が使えない状況での避難生活、復旧活動は困難を極め、車中泊避難をされていた方が、熱中症で亡くなる暑さによる災害関連死も発生し、真夏の災害での対応の難しさを改めて感じました。

今年度中には、町の避難所すべてに空調が設置される予定です。しかしながら、停電時は利用できないことや、冷房のない部屋などもあることから、停電時や避難者数が多い場合の対応など課題があると考えています。町として夏季の災害への対策について改めて考えるとともに、町民の皆さまにも、日頃から災害に備えていただきますようお願いいたします。

さて、国内の経済に目を向けますと、内閣府による7月の月例経済報告では、今後の先行きについて「雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、中東情勢の影響を引き続き注視する必要がある。また、金融資本市場の変動の影響などに注意する必要がある」としています。厚生労働省が発表した6月の毎月勤労統計調査によると、物価変動の影響を除いた実質賃金は前年同月比で2.2%上昇し、6カ月連続のプラスとなっていますが、依然として家計は厳しい状況が続いています。

このような状況の中、本町の物価高騰への支援策として、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して、地域経済の活性化や物価高騰の影響を受けている生活者や事業者を支援するため、町民1人につき8千円分のクーポン券を配布する「阿久比町くらし応援クーポン券事業」を、阿久比町商工会に事業の一部を委託するなど連携して実施しています。クーポン券は、町内の取扱加盟店で12月31日までご利用いただけます。

このほかにも、水道料金の基本料金6月と7月分の2カ月分免除、給食費の支援、農業者や畜産農業者に農業用資材や配合飼料等の購入費の一部支援を

行っています。

追加の生活者への支援策として、今定例会で補正予算を計上させていただいていますが、エアコンなどの省エネ家電製品の買い替え費用の一部を補助する事業を実施します。

今後、物価高騰の影響を緩和する各種事業を、迅速に実施して町民の皆さんの家計と事業活動を支えていきます。

それでは、ここから今年度の町政運営上の諸般についての報告をさせていただきます。

本年度は、「第6次阿久比町総合計画」の6年次として、計画に掲げる施策を目標に予算を編成しました。全職員の知恵と創意を融合し、「安全・安心・安定」、「次世代につなぐ」、「みんなで創る」を基本理念のもと行う「輝く子どもたちをみどりが包むまち・あぐい」に向けた、主な事業の経過と結果を申し上げます。

子育て支援は、令和8年4月より宮津保育園が「宮津こども園」として新たにスタートし、保育園枠・幼稚園枠の子どもたちが同じクラスで一緒に過ごせ

る環境としています。初年度でもあり、日々の経験を積み重ねながらスムーズな運営に心掛けています。

保育園では、乳児保育・延長保育・一時預かりなど各種保育サービスに加えて、子育て世帯に働き方やライフスタイルにかかわらない形での支援を強化するため、「こども誰でも通園制度」を、城山保育園で今年度から新たに開始しました。

子どもたちの学習・生活の場であると共に、災害時には避難所として利用される学校の体育館の空調整備は、昨年度の中学校体育館に続き、4小学校の体育館と、中学校の武徳館、アザレアホールにエアコンを整備しました。

今月19日からアジア最大のスポーツイベント「愛知・名古屋2026第20回アジア競技大会」が開催されます。本町では、阿久比スポーツ村を練習会場として使用できるよう陸上競技場の改修工事を完了させました。7月26日に完成式典を挙行し、新しくなったトラックの走り初めイベントを行いました。長期にわたり、利用者の皆さまにはご不便をお掛けしましたが、リニューアルされた陸上競技場を思う存分ご利用いただければと思っています。また、練習会場としてグラウンドを利用されるチームには、大会本番での健闘を期待します。

阿久比スポーツ村では、現在ある施設を利活用しながら、整備基本構想の策定にも取り組んでいます。全体の将来像を描き、現在抱える様々な課題の解決に向けて「日常に寄り添うコミュニティパーク」、
「知多半島の次世代アスリートの育成拠点」、「野球の歴史を未来につなぐメモリアルパーク」といった、3つのコンセプトについて、事業手法など具体的な実現性の検討を進め、地域や関係者との合意形成を図りながら、整備基本構想をまとめていきます。

ほかにも、交流センター（アグスポ）はシャワー室やW i - F i 環境整備、野球場は防球ネットや内外野のフェンス緩衝材の改修を進めます。さらに、年内にネーミングライツの募集を開始し、民間と協働で「スポーツを通じて交流できる場所」の創造を推進していきます。

地域公共交通再編事業は、循環バス「アグピー号」にグリーンラインを新設します。要望が多かった、バスの増便に対応するため、10月1日から、2路線を3路線に増便し、利用者数の多い平日の午前中を中心に、概ね1時間に1本の運行となるよう、運行ダイヤを改正します。

アグピー号の運行状況や混雑状況がインターネットで確認できるバスロケーションシステムも導入し

ます。さらに、交通空白地域・時間帯や、バス停や駅までの移動が難しい方の移動を支えるデマンドタクシー「阿久比町おでかけタクシー」の実証運行を、10月15日から行い、町民の皆さんを多様な移動サービスで支えていきます。

阿久比駅周辺整備事業は、選定した地区を総合計画と都市計画マスタープランへ位置づけ、民間事業者による開発も選択肢に入れ、事業実現に向けた検討を進めているところです。

企業立地推進事業も同様に、総合計画と都市計画マスタープランへの位置づけを行い、民間事業者など、各地区の特性に適した事業主体と事業実現に向けた調整を行いながら、調査設計や地権者の意向把握など、早期事業実施に向けた取り組みを進めています。

オアシス大橋東交差点から名鉄阿久比駅までへの渋滞対策として進めている、駅東へのアクセス道路は予備設計業務が完了しました。今後は、用地測量、ロータリー設計、詳細設計などを実施し、阿久比駅東の利便性向上も含め、事業を進めていきます。

ここからは、本年度の、そのほか各事業の現況について申し上げます。

まず、**総務部関係**です。

自治体D X推進事業は、議会のI C T化を進めるため、庁舎4階議会エリアのW i - F i環境整備とL G W A Nネットワークの無線化を実施しました。また、情報基幹システムの標準化移行を進め、令和9年度末までには、すべて完了させ、職員の業務の効率化を図り、住民サービスの向上に努めていきます。

広報活動事業は、「広報あぐい」を月1回の発行として、記事の内容を充実することや紙面のレイアウトを変更することで町民の皆さんに読まれる広報を目指しています。さらに、インスタグラムでは動画投稿を活用してまちの魅力を発信しています。

ふるさと納税は、ポータルサイト内での返礼品ページをブラッシュアップすることにより寄附者への訴求力を高め、寄附額の増加を図っていきます。

男女共同参画推進事業は、「第2次阿久比町男女共同参画プラン」が本年度終期を迎えることから、住民アンケートや策定委員会を実施し、新たに第3次

プランを策定していきます。

まちづくり活動支援事業は、「阿久比町みんなでチャレンジまちづくり事業応援制度・愛称アグチャレ」により、新たに取り組みを始める団体への初動支援補助金と、設立後1年以上経過した団体への活性化支援補助金により、地域課題の解決や地域の活性化につながる公益性のあるまちづくり事業に財政的支援を行っています。今年度は、初動支援に1団体、活性化支援に8団体の事業が採択されました。

シティプロモーション推進事業は、地域の資源や独自性を整理・明確にすることで、まちに新たな価値を創造し、まちの魅力を効果的に伝えるための「コンセプト・ブランディング戦略」を構築することや、「三世代同居等定住促進補助金」などにより定住促進と地域活性化を進めていきます。また、9月26日には、役場の駐車場や芝生広場に地元の食材を使ったキッチンカーなどを集めて「あぐい結びの市よりみち」を開催し、イベントを通じて町の魅力を発信します。

防災訓練は、令和5年度から町と地域との合同防災訓練を実施しています。4回目となる今年度は英比学区との合同訓練を11月1日に開催します。

今回は、自主防災会の役割や災害時の活動内容を知り、今後の自主防災会活動の活性化につなげることをメインテーマとして実施します。災害時のペット避難をテーマにしたブースの設置や災害用ドローンの実演なども実施する予定です。

防犯対策は、特殊詐欺や侵入盗、自転車盗難が多いことから、「特殊詐欺対策装置購入費の補助」、「地区への防犯カメラ設置費の補助」を実施し、警察と協力しながら「防犯出前講座」も積極的に実施していきます。

次に、**民生部関係**では、現在、令和9年度を計画の始期とする4つの福祉計画について、策定を進めています。

社会福祉関係は、更なる地域福祉の推進、地域共生社会の実現を目指し、令和14年度までを計画期間とする「第3次阿久比町地域福祉計画」を、

障害福祉関係は、共に社会的障壁を乗り越え、地域社会で共生することを目指し、令和11年度までを計画期間とする「第8期阿久比町障害福祉計画」と「第4期阿久比町障害児福祉計画」を、

介護保険・高齢者福祉関係は、高齢者が安心して生活できる地域共生のまちづくりを目指し、同じく令和11年度までを計画期間とする「第10期阿久比町介護保険事業計画・高齢者福祉計画」を、いずれも今年度中の完成に向け鋭意進めています。

児童福祉関係は、児童手当やひとり親等手当の支給を通じて子育て家庭の経済的支援を引き続き実施していきます。

予防接種事業は、今年度から定期接種に加わった、妊娠28週から36週までの妊婦の方にRSウイルスワクチン接種を開始しています。

母子保健事業は、新たに5歳児健診を各種専門職と連携して実施し、就学に向けたフォローアップを行っています。また、産婦健診の助成を1回から2回に拡充しました。

オアシスセンターでは、建物の長寿命化を図るため、トイレと付随する給排水管の改修工事を進めています。

国民健康保険事業は、愛知県が示す標準保険料率に準じた税率改正を行うことにより、健全で安定し

た財政運営に努めています。今年度からは、国民健康保険税と後期高齢者医療保険料に「子ども・子育て支援金分」を併せてご負担いただいています。「子ども・子育て支援金」は、少子化対策を社会全体で支えるため、すべての世代に公的医療保険の保険料と併せて負担いただく制度です。

特定健康診査事業は、受診率向上に努めています。未受診者や若年層への受診勧奨を強化し、「疾病の早期発見」と「医療費の適正化・抑制」を図っていきます。

次に、**建設経済部関係**です。

道路事業は、愛知県が進める都市計画道路名古屋半田線の整備に併せ計画している、高根台から白沢地区までのアクセス道路は詳細設計が完了し、白沢グランド内道路の設計についても完了しました。今後は、土地の評価業務、用地買収を進めていきます。

町内の主要幹線道路と橋梁は、「道路舗装修繕計画」・「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、道路舗装の修繕や橋梁の老朽化対策などに必要な調査業務を、計画的に行っていきます。

公園整備事業は、施設の老朽化に伴い、丸山公園と山田中央公園のフェンス改修工事、丸山公園テニスコート東の人工芝張替工事を実施します。

農業振興事業は、優良な農地を保全し、農業振興の各種施策を計画的に実施するための「農業振興地域整備計画」の見直しは、今年度で完了します。

また、昨年度策定した「阿久比町 6 次産業化推進戦略」に基づき、農産物の直売所が草木地区に整備されることで、農業を通して本町への交流人口を拡大し、地域の活性化を図っていきます。

農業用施設は、農道や農業用水路の補修工事を行い、植大排水機場は、愛知県による整備が 5 月に完了し、6 月から稼働しています。また、農業用ため池の耐震性能保持のため、地震対策ため池防災工事を愛知県と共に進めています。

商工振興事業は、地域経済の活性化、雇用創出、産業振興を目的に、「創業チャレンジ支援補助金制度」を 6 月から開始しました。

勤労福祉センターは、「個別施設計画」に基づき、トイレや舞台吊物などの改修工事を進めるほか、空調設備改修工事の設計業務を行うなど、施設利用者

の安全の確保と利便性の向上に努めていきます。

観光事業は、駅前のにぎわい創出事業として「駅前夜市にぎわい一丁目」を観光協会と共催で、7月17日と18日の夕方に行い、町の新たなにぎわいと人々の交流を図りました。

ごみ対策事業は、特小サイズの指定ごみ袋の作成をはじめ、廃食用油の常設回収ボックスの新設などを行い、利便性とリサイクル率の向上を図っていきます。

令和7年度の1人1日当たりの家庭系ごみの量は、令和6年度と同じ441グラムでした。引き続き、令和12年度目標である439グラム達成に向けて、町民の皆さんと共に減量化を推進していきます。

環境保全対策事業は、昨年度末に策定した「阿久比町地球温暖化対策実行計画」を推進するため、計画策定を委託した民間事業者と包括的連携協定を7月に締結しました。住宅用地球温暖化対策設備や次世代自動車の補助など、2050年ゼロカーボンシティの実現に向けて、町民・事業者・行政が一体となって二酸化炭素の排出削減に取り組んでいきます。

水道事業は、近年の物価高騰による経費増加や愛知県営水道の料金値上げに伴い、10月から水道料金の改定をお願いすることになりました。将来にわたり安全・安心な水道水をお届けするため、ご理解、ご協力をお願いします。

下水道事業は、「ストックマネジメント計画」に基づいた適切な施設管理に努めているほか、「総合地震対策計画」に基づいた耐震診断を進めています。

次に**教育委員会関係**です。

学校教育は、文部科学省が掲げるGIGAスクール構想の実現に向けて、新しいタブレット端末に入れ替え、学校現場から要望のあったグラフィックデザインソフトを導入し、活用による学びの質の向上を推進しています。

学校環境整備は、阿久比中学校の体育館トイレ改修工事、東部小学校の北校舎屋上防水工事、南部小学校の給食用リフト改修工事を行い、計画的に建物の長寿命化を図っています。

ソフト面は、教育支援センター「こすもす」をはじめ、中学校の校内教育支援センター「オアシス」に専属の支援員を配置し、生徒とその保護者の抱え

る悩みに対して早期に、きめ細かく対応しています。

児童生徒の救命措置の優先や安全の確保のため、学校の管理下で、緊急搬送された際の選定療養費を助成し、保護者の経済的負担を軽減します。

地域と共にある学校をより深めるために、各小学校校区に展開しましたコミュニティ・スクールは、愛知県主催の講演をW e bで受講し、各学区で取り組んでいる事例の紹介、活動の活性化に向けた研修会を開催しました。

学校プール施設の老朽化により、南部小学校と草木小学校のプール授業を4月から約3カ月間、交流センター（アグスポ）室内プールで行い、天候に左右されず実技指導ができました。

「幼保小中一貫教育プロジェクト」は、子どもたちの実態を把握し、未来に向けて必要な力をつけるため、引き続き「体力向上」と「外国語活動」を中心に推進していきます。

国際交流事業は、J I C A国際協力出前講座を中学校で計画しています。また、包括連携協定を締結した日本福祉大学の協力を得て、今年度で3年目と

なる留学生と児童・生徒の異文化交流も計画しています。

学校給食は、保護者負担を軽減するため、国の交付金を最大限活用し、小学校は無償に、中学校は100円を町が負担して、子育て世代の負担軽減に努めています。また、食物アレルギーなどで給食を食べることができない児童を対象に、弁当を持参する家庭への支援制度も創設しました。

社会教育関係は、板山高根湿地では、森林環境譲与税を活用し木道の改修を進めながら、自然観察会を通じて、町内外の方に貴重な昆虫や植物を紹介しました。また、9月19日にはアグピアホールに本格的なアーティストを招き、「ファミリーコンサート」を開催します。

生涯学習を推進するため、中央公民館をはじめ各地区公民館や図書館、ふれあいの森、阿久比スポーツ村などの社会教育施設は、町民の皆さんの身近な学習や交流の場として、子どもから大人まで自由に学習機会を選択して学ぶことができるよう、文化、スポーツの両面から学習活動を支援しています。

社会教育施設では、「長寿命化計画」に基づき中央公民館トイレを1階から3階まで洋式トイレに改修、ふれあいの森体育室の空調整備、図書館の高压受電設備の取り替えを行います。

10月から中学校の休日部活動に代わる「あぐい地域クラブ」が野球やサッカーなど18種目でスタートします。子どもたちが継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保するため、指導にあたる関係者の皆さまのお力添えをいただきながら、休日部活動の地域展開を進めていきます。

今年度の町政の概要につきまして、報告させていただきました。

第108回全国高校野球選手権大会開会式で、初出場、西東京代表の八王子実践高校の矢沢陵磨主将の選手宣誓がとても印象に残りましたので紹介させていただきます。

「人生には幾多の困難が待ち受けています。人は明日へと踏み出そうとする度に、自然は何度も何度も大きな試練を与えてきます。しかし、困難は下を向く要因ではなく、前を向き、仲間とともに支え合い、道を切り開く大きな原動力である。私たちはそう信じています。今、野球ができていることは決し

て当たり前ではありません。だからこそ、高校球児はいい顔をして野球をしよう。いい顔の概念は、状況によって変わります。戦いに身を投じている時の緊張した顔。勝負に敗れ、涙をぐっところえた顔。感謝の気持ちにあふれた満面の笑顔。いい顔で日々を過ごすことは、周りの方々に元気や希望を与えます」

「幼保小中一貫教育プロジェクト」での学びを巣立った阿久比中学校出身の皆さんの活躍が、この夏も多くみられました。中には甲子園で白球を追う姿もありました。そこには素晴らしく「いい顔」がありました。誰もがみな本当に「いい顔」でした。私も町民の皆さまに元気や希望が届けられるよう「いい顔」をして、町政を進めてまいります。

なお、今定例会におきましては、条例を始め各会計別の決算認定や補正予算など、多くの重要案件をご提案申し上げます。

議案の内容につきましては、議事の進行に従いましてご説明させていただきますので、よろしくご審議の上、適切なご議決を賜りますようお願い申し上げます、諸般報告とさせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。